

# わきのしま

平成28年4月7日  
多治見市立脇之島小学校  
学校報 第1号

## みんなの笑顔が輝く脇之島小学校に

校長 舘林 直子

ホワイトタウンを彩る桜の花に、力強い春の訪れを感じます。学校の中庭のチューリップは子ども達の来校を待っていたかのように花を開きました。

保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。平成28年度が始まりました。全校児童202名、教職員28名でのスタートです。



脇之島小学校では、学校の教育目標「考える子・思いやる子・きたえる子」を具現化するために子ども達への合言葉を『3つの笑顔』とし、『できた笑顔』『ほかほか笑顔』『やりきった笑顔』の子ども達を目指して今年度も教育活動を推進して参ります。

私たちは誰も、得意なことも弱さもっています。それをわかり合い、尊重し合った上で、助け合ったり鍛え合ったりしてお互いに高め合える学校にしたいと思っています。自分だけが楽しいのではなく、みんなの笑顔が輝く脇之島小学校でありたいと願っています。



地域や家庭に見守っていただき支えられている脇之島小学校。この素晴らしい環境の中で子ども達と共に過ごすことができることに感謝し、職員一同、心を一つにして取り組んでいきます。保護者の皆様、地域の皆様にはいろいろとお世話になりますが、子ども達の輝く笑顔のために、どうぞよろしく願いいたします。

### 脇之島小学校校歌からあふれる学校への思い

昭和62年4月に開校した本校は、30年を迎えようとしています。(30周年記念事業は平成29年度に実施予定)

このことを一つのきっかけとして、本校の歴史について調べました。学校報等で少しずつ紹介します。

脇之島小学校開校時には校歌はまだありませんでした。歌詞が作詞者東徳太郎氏から届いたのは平成元年7月1日。それに曲をつけたのは初代校長鶴飼敬三氏です。歌詞が届いてから3ヶ月後の平成元年10月1日の運動会の時に、保護者や地域の方々に披露されたそうです。

脇之島小学校の校歌、1番～3番まで最後は同じ歌詞で締めくくられています。

「みんなの みんなの 学校だもの」

脇之島小学校が待ち望まれて設立したこと、そしてずっと地域の学校として大切にされてきたことが、この校歌の歌詞からも伝わってきます。

この思いを今後も引き継いでいきます。



## 脇之島小学校校歌からあふれる学校への思い

昭和62年4月に開校した本校は、満30年を迎えようとしています。(30周年記念事業は平成29年度に実施予定)

このことを一つのきっかけとして、本校の歴史について調べました。学校報等で少しずつ紹介します。

脇之島小学校開校時には校歌はまだありませんでした。歌詞が作詞者東徳太郎氏から届いたのは平成元年7月1日。それに曲をつけたのは初代校長鶴飼敬三氏です。歌詞が届いてから3ヶ月後の平成元年10月1日の運動会の時に、保護者や地域の方々に披露されたそうです。

脇之島小学校の校歌、1番～3番まで最後は同じ歌詞で締めくくられています。

「みんなの みんなの 学校だもの」

脇之島小学校が待ち望まれて設立したこと、そしてずっと地域の学校として大切にされてきたことが、この校歌の歌詞からも伝わってきます。

この思いを今後も引き継いでいきます。